

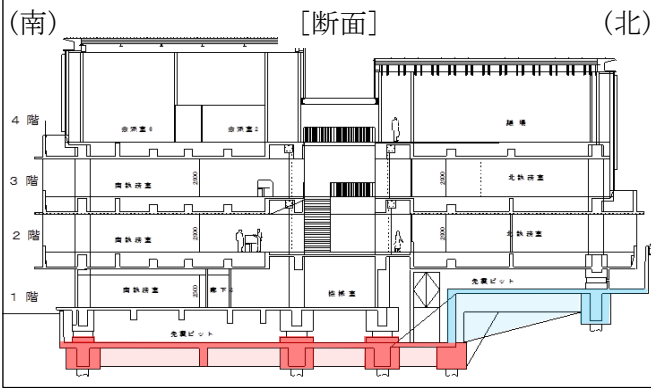
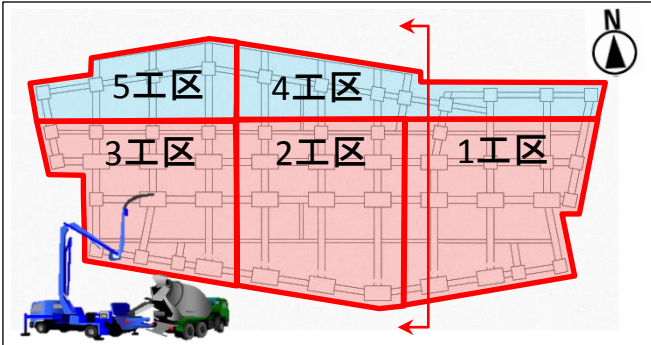


- 基礎コンクリート打設
- 免震装置の取付け

南側の地下躯体が完了し、免震装置の取付け作業を行っています。

今後は、免震装置の取付け作業と並行して、北側の基礎工事を行っていきます。

※コンクリートミキサー車の搬入が多くなっており、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。



【作業状況】南側(赤色)では、地下躯体のコンクリート打設が完了し、免震装置の取付け作業を行っています。北側(青色)では、基礎コンクリートの打設準備のため、掘削・型枠工事を行っています。



【配筋検査】設計通り鉄筋が組まれているか検査をしています。一番太いものでφ41mmの鉄筋を使っています。



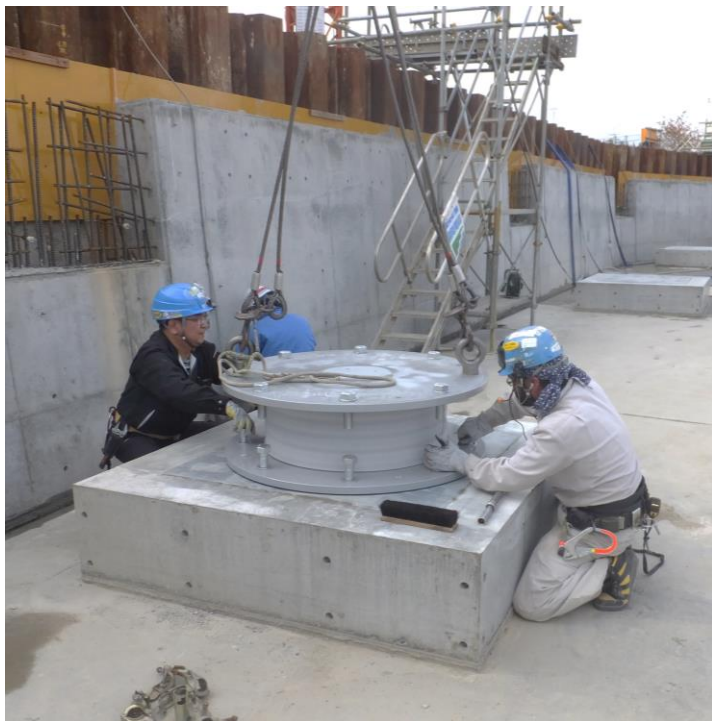
【基礎コン打設】地下躯体部分にコンクリートを打設しています。地下には、井水槽や非常時用の汚水貯留槽が整備されます。



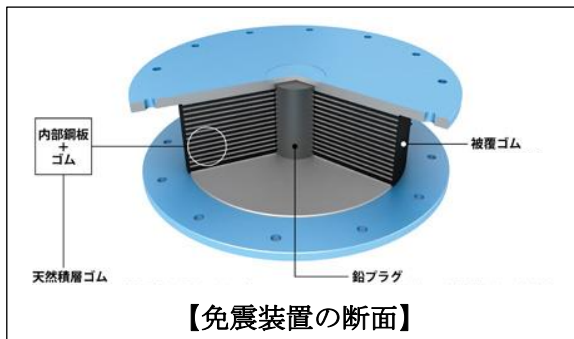
【免震装置基礎】免震装置を設置するための基礎です。上面には、装置を固定するためのベースプレートが埋め込まれています。

# 免震装置の取付けを行っています

新庁舎は災害時に防災拠点となることから、[災害に強い庁舎]とするため、大地震に対しても建物や設備に対するダメージを大幅に抑えることができる免震構造となっています。



【免震装置の取付け】基礎に埋め込まれたベースプレートにボルトでしっかり固定します。新庁舎では、3種類の免震装置を組み合わせ、合計44個の免震装置を設置します。

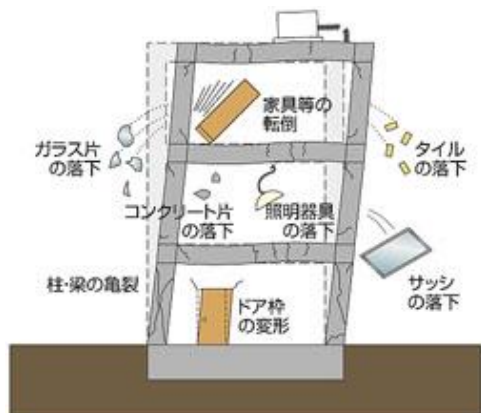


【オイルダンパー】オイルダンパーは、免震装置でゆっくりになった建物の揺れを、早く止める役割をします。合計12箇所を設置します。

## ◆ 免震構造とは ◆

免震構造は、地面と建物の間に免震装置を設置することで、地震の揺れが建物に直接伝わらないようにし、建物を安全に保とうとする構造です。

地震の力を減衰し、ゆっくりした揺れに変えるため、建物本体が損傷しないだけでなく、建物内部の什器や機器の転倒を防止することができます。



(通常の建物)



(免震構造)